



2014年度 地球環境委員会見学会（10月23日）

地球環境委員会（委員長：菊地美佐子 三井物産(株)環境・社会貢献部地球環境室長）は、委員各社の環境担当者の環境教育に資することを目的とした見学会を毎年実施している。

2014年度は、電気機器業界の有力企業であり、「環境経営度調査」（日本経済新聞社実施）にて2年連続で製造業総合1位を獲得している(株)東芝の環境対策への取り組み、同社が開発した科学技術を見学するため、「(株)東芝横浜事業所」および「(株)東芝 東芝未来科学館」を訪問した。当日は、委員会社14社の環境部門担当者等20人超が参加した。



茶運び人形の実演

(株)東芝 横浜事業所は、原子力事業に関わるエンジニアリング部門・技術開発部門、ならびに、材料・部品・電子デバイスの設計・製造部門等、最先端の生産技術の研究開発部門、建築設計部門、ストレージデバイス機器の研究開発部門、燃料電池関連の設計・製造部門を有する複合事業所である。見学会では、エネファームの名称で知られる家庭用燃料電池装置をはじめ、太陽光発電設備、ガス コージェネレーションシステム等の実物を見ながらそれぞれの担当者より

説明を受けた。この他、工場排水を利用したラグーン（潟）では工場からの水質監視や生物の生息空間創出等の役割について、また廃油保管施設（危険物保管庫）では管理方法の可視化の徹底について何うことができた。

(株)東芝 東芝未来科学館は、東芝グループの歴史、同社製品の一号機から先端技術までを身近に学び、体験することのできる施設である。

同施設では、同社のあゆみを振り返ることができるヒストリーゾーンにて、茶運び人形（からくり人形）の実演をはじめ、創業者が設計・製作した万年時計や日本初の電気洗濯機等につきアテンダントスタッフより説明を受けた。 



集合写真